



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2014年11月会報 第314号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Isaac Palathinkal (インド)
主 題: "Theme:Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」
標 語: "Do it Now"
「今すぐやろう!」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本)
主 題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
標 語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 松本 武彦 (大阪西)
主 題: 「響き合い、ともに歩む」
"To walk together, echoing each other"
標 語: 「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
- 六甲部長 多胡 葉子(宝塚)
主 題: 「わたしとあなたのY'S ダムを YMCA と共に」
《ユース・交流・地域》
- 宝塚クラブ会長 杉谷 和代
主 題: 「Shareする喜びを感じよう、その輪を広げよう!」
"Let's feel the joy of sharing. Widen the circle of it"

今月のテーマ:

時を経て、カインは土の実りを主のもとに献げ物として持って来た。アベルは羊の群れの中から肥えた初子を持って来た。主はアベルとその献げ物に目を留められたが、カインとその献げ物には目を留められなかった。カインは激しく怒って顔を伏せた。……カインが弟アベルに言葉をかけ、二人が野原に着いたとき、カインは弟アベルを襲って殺した。

(創世記4章3-5,8節)

2014年11月第一例会

日 時: 2014年11月12日(水)18:30
場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
会 費: 会員 3,100円、会員外 3,500円
ドライバー

開会点鐘
ワイズソング
聖書
祈 禱
ゲスト・ビジター紹介
会長報告、
YMCA 報告
会 食
ユース例会
楽しい時間

桑田 勝弥
福田 宏子
杉谷和代会長
全 員
武田 寿子
多胡 葉子
杉谷和代会長
桑田 勝弥
佐野 麻子さん
杉谷会長
杉谷和代会長

ヤキマクラブ訪問報告
誕生日のお祝い
閉会点鐘

2014/15 役 員	会 長 杉谷和代 直前会長 石田由美子 副会長 福田宏子、石田由美子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 六甲部部长 多胡葉子 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 福田宏子 EMC 石田由美子 交 流 石田由美子 ファンド 三品ミチ子 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	樋之内悟 (11月4日) 桑田祐紀菜(11月22日) 多胡 進 (11月26日)
10 月 実 績	例会出席者数 31名 在籍会員数 23名 出席会員数 19名 出席率 82.6% メイクアップ(内数) 0名 メネット 3名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター9名
	B Fポイント 10月 4,700円 累 計 13,400円 にこにこBOX 10月 3,000円 累 計 31,200円 物品販売累計 6,000円

10月第1例会報告

10月第一例会は8日(水)午後6時30分より宝塚ホテル・ゴールドの間で杉谷会長の点鐘で始められました。出席者はめメン・メネット22、ゲスト9、計31名。ワイズソング、聖書朗読(沢田メン) 祈祷(今田メン) に続きゲスト・ビジターの紹介。今回のスピーカーは関学出身で日本最高令(80才)の現役スポーツアナウサーの西澤暲さん。「サンテレビ・ボックス席」で32年間にわたり阪神タイガース戦を中心に500試合以上のプロ野球放送を担当された方である。当然、今回はタイガースの内情をたっぷりと聴



けると期待して、会場は既に盛り上がっている。諸報告、アピールの後、急いで食事を済ませデザートのコーヒーが出た頃に「六甲おろし」のメロディーに乗って颯爽と西澤さんが登場「阪神戦実況32年のあゆみ」と題するお話が始った。まずは、1964年の東京オリンピックの思い出から――。

西澤さんは当時、民放選出15人のアナウサーの一人としてラジオの実況放送を担当された。50年前とあって、未だテレビの普及率は低く、ラジオでオリンピックを聴いた時代である。西澤さんは初めての種目も含めて多くの競技の実況放送をこなしたことが今も一番の思い出と話される。そして、当時を偲んで10月10日渡辺謙太郎アナが担当した開会式の実況テープが会場に流された。感動の聖火点火のシーンだ。

私達も当時を思い出し懐かしく聴かせて頂きました。

西澤さんは2020年の東京オリンピックも実況放送をやりたい、という願いを持っておられる、とのこと。86才の西澤さんが元気に実況放送をする姿を見たいと思う。そして、タイガースの話題へ――、西澤さんは最近「阪神戦実況32年甲子園の放送席から見たタイガースの真実」という本を出版された。その本にも出てくる実況放送の裏話や選手との交流、そしてこれまで起こった幾つかの「事件」の真相等々興味深い話をユーモアたっぷりにあの名調子で語って下さった。長い間この仕事していると選手や球団関係者と親しくなることもあり、情報収集に役立つことも多い。それでも立場上は一定の距離を保ちつつ上手に付き合っていくことも必要とのこと、これも仲々難しいことである。しかし、西澤さんのアドバイスでバッティングの調子を取ももどした選手や引退を思いとどまった有名な選手がいるとのこと。そして江本選手の「ベンチがアホヤから」発言、掛布選手引退の経緯等、阪神ファン多くが気に懸っていたことについて真相を知ることができた。又「阪神ファン」という「人種」については「幼稚」であり「ヤカマシイ」と一刀両断。この「人種」は勝敗にこだわり過ぎている。また応援もやかまし過ぎて「騒音」となり、外野手は守りにくいというマイナス面もあるとのご指摘。これも「真実」であり、阪神ファンとしては反論することは出来ない。

最後にポストシーズンのクライマックスシリーズ、日本シリーズでタイガースが勝ち抜き「日本一」に輝く事が出来るかは「神のみぞ知る」と締めくくられた。もう祈るしかありません。もっと聴きたいところだか定刻もオーバーしたので「又、次の機会に」ということで誕生日のお祝いをして会長の点鐘をもって閉会とした。

吉田 明

＝第3回シアトル訪問記＝

2カ月のシアトル滞在中に3Y'sサービスと2YMCAを訪問できたことはこの上ない喜びと、感謝である。訪問したY'sサービスを整理すると、IBCのYakima-President John Hedrich, 神戸ポート山崎往夫メンのご紹介のMM East Madison-President Lee A Woodard, Seattle Downtown-President Sharon Meadowsの3Y'sである。

YMCAはYakimaの前会長で現在もブリテン委員長として活躍中のWayne



Smithメンの一人娘Heidiの紹介でシアトルのYMCAを訪問、もうひとつYakimaのYMCAは会長のJohnの案内であった。シアトルのYMCAのツアーは突然のことだったが意外に沢山存在すると聞いた。そのひとつのYMCAはサイズはそれほど大きなものではなかったが設備は充実している印象を受けた。YakimaのYMCAは地域的な影響から立派なスケールで、すべての年齢層に気配りした利用しやすい地域と密着のコミュニティーフレンドリー設備が整って目を見張るものもあった。フィットネスが盛んな国にもかかわらず地域差があって、全域でYMCAの知名度があるわけではないことは滞在中、知人、友人から得た情報である。ではY'sサービスの活動はどうか？夏期であったこともあり、会員の多くが休暇中であり、少しの会員にしか会うことが出来ず残念だったが、その中私のために特別例会開催で歓迎されたことはY'sスピリットである交流を大事にする組織の精神だと感じ非常に感謝の気持ちを抱いた。MM East Madisonと会員が4名で現在女性の会長Sharonが孤軍奮闘しているSeattle Downtownの合同例会は、出席

者数は少なかったが、副会長の就任式の場面に居合わせたことは幸運だった。若い副会長就任できっと彼が新しい風を吹き込んで伝統のクラブが生き残れるよう期待したいと思い、そのような増員に関する話し合いが出来た。会員の高齢化と若い人に魅力あるクラブに、活動にして行くことが国が違っても抱える問題は同じであることを認識し合った。YakimaはIBCであるので締結した当時のことが話題になったり、内容はより家族的なものとなった。定期的に受信するブリテンを通して何となく彼らの活動は知識としてあるが、実際にFace to Faceで話し合うことはより親密度が増すものだと感じた。長尾夫妻が築かれたこのつながりを私たちは大事に継続したいと改めて感じた。しかし訪問した3クラブとも実際の具体的な活動内容、YMCAとの繋がりなどを実感できなかったのは残念だったので来年の訪問はそのような活動を彼らがどのように準備し、実行し、結果を出しているのかを実際体験したいと感じている。IBCに関して言えば、どの程度広げて行くかはクラブによってとらえ方は違ってくるだろうが、世界的な組織である以上、個々のクラブの活動は世界に繋がるものであり、その輪が広がれば広がるほど、日本国内のみならず世界の若者をサポートする組織として大きく羽ばたけるのではないかと思う。そしてIBCの彼らと理解しあえるためには時間も努力も必要である。幸い宝塚は英語版ブリテン第一号が発刊された。彼らには日本語版を100回送るより数行の英語版に写真を添えることはどれほど強いメッセージになるかということ今回目の前で彼らのリアクションを見て強く感じた。英語版はボリュームを少なくしても頻繁に定期的に発行を続ける努力こそがIBCの関係を密にするヒントだろうと私は考える。シェアする喜びを感じ、シェアする喜びの輪を広げることが世界にも広げて行くことは夢ではないような気がする。

杉谷会長

10月第2例会報告

10月15日(水)18時30分から西公民館会議室にて、石田・福田宏子・多胡・武田・青柳・加藤・堀江・長尾・吉田・若林各々、三島主事代行及び今田様 計12名の出席で第2例会が行われた。杉谷会長は米国からの帰国便が遅れたため欠席。事前に準備されたアジェンダに基づいて石田様が議事を進めた。

議事要旨は次の通り。

1. 例会運営の確認

*11月12日(水)第1例会は、桑田様とリーダー仲間である佐野麻子さんを中心に楽しいプランが準備されるとのこと。この日はユース特別会費1000円とし、西宮Yリーダーなどに参加を呼びかけ、ユース例会として行う。

*あわせて、杉谷会長からシアトルYMCAとヤキマクラブの訪問報告を聞く。この報告は、国際交流事業報告として西日本区へ報告する。

*12月10日(水)クリスマス例会は、第1部クリスマス礼拝、関学神学部教授 嶺重 淑氏(ブリテン聖書の蘭を担当)の奨励。第2部はGospel Song合唱を楽しむ。第3部は祝会となる。

それぞれに詳細を確認し、11月第2例会にて報告する。

*12月17日(水)の第2例会は、翌日開催の市民クリスマスの最終練習日に重なるため、12月12日(金)16~18時、甲東教会に変更して行う。なお、市民クリスマス運営の役割分担等は11月第2例会にて説明する。

2. 宝塚1万人ラインダンスの集い

11月1日(土)10~12時、宝塚歌劇場周辺の河川敷にてギネス挑戦・1万人のラインダンスにブア・ナニ・ヴァイオレット チームが参加し、Ys シャツを着てラインダンスを披露する。参加者は、石田・福田宏子・今田・杉谷・水谷親子の予定。

3. チャリティーラン

11月3日(月・祝)神戸しあわせの村で開催のチャリティーランの参加者・材料仕入・備品類を確認した。参加者は、堀江・武田・今田・多胡・福田ひ・杉谷・若林の7名。午前8時に宝塚ホテル前に集合し、堀江・長尾・若林の3台に分乗。(後日、今田さんの参加も決定)

4. 六甲部 EMC 事業委員会

福田様から、EMC 事業委員会として六甲部200推進計画に関する報告があった。

詳細はブリテン別項参照。

5. YY フォーラム

多胡様から YY フォーラム準備会報告があり、1月成人の日前後に開催の YY フォーラムを、阪神大震災記念日にあたる1月17日(土)に変更して行い、共助・共生・防災・ボランティア・自分たちでできることなどをテーマに、ユース委員会が運営することになった。

6. DBC

DBC 交流の現状について意見を交換した。千葉クラブからのプロポーザルへの関心も高いが、既に締結しているクラブとの交流の掘り起こしも大切だとの認識が示された。また、今年度は六甲部長輩出クラブとして部長方針に示された案件の取り組みを優先すべきであるとし、新たな DBC は時期を待つことにした。

7. アジア大会マーシャル候補

来年7月31日~8月2日に開催される京都大会のマーシャル協力要請を受け希望者を募集。主催者の意向は「次代を担う若い世代」だが、国際的な交流を楽しむ機会として、クラブからも積極的に参加することになった。

8. ブリテン編集

長尾様から11月ブリテン編集に関し寄稿分担・日程の確認、及び12月末発行の英語版ブリテン第2号の編集提案があった。英語版については、海外クラブも宝塚クラブ情報を楽しみにされている由。

国際交流の有力ツールとして、武田様に翻訳援助を依頼し、英語版発信を継続することとした。

9. 六甲部長報告

神戸 YMCA 新会館建設計画に協力するため六甲部・神戸 YMCA 共催のイベントを行う。

日時：1月24日（土）14時～17時

場所：カリック神戸中央教会（500人収容）

内容：野球解説者 田口 壮氏による講演

Super Kids Orchestra による演奏

若者たちによるトークセッション

入場料：1000円

六甲部長の働きを多とし、集会の成功を願って積極的に応援・参加することとした。

若林成幸

= 会 長 報 告 =

10月第一例会は素晴らしいゲストスピーカー 西澤様にお出でいただき、大勢のトラファンは少年のころに戻ったように終始うっとりとお話しに耳を傾けておられる姿はとても微笑ましい風景でした。西澤様のお人柄がうかがえる心温まるエピソードが印象的でした。

来月は Youth の桑田君の主導プログラムになりますが、若い方がどのように高齢者グループを巻き込んだプログラムの進行になるのか、いろいろ具体的な内容も決まり、準備を下さっていることを感謝し、とても楽しみにしています。

今後の参加行事としては、

○クリスマスキャロルの練習は既にスタートし継続的に行われます。

○第3回チャリラン協賛委員会は10月23日（木）7pm～神戸 YMCA カレッジ（新神戸）で開催。福田、杉谷出席

○宝塚1万人のラインダンスは11月1日（土）開催。多胡、福田宏子、素子、石田、今田、水谷、杉谷 計7名が参加。

○神戸 YMCA インターナショナルチャリティーラン2014は11月3日に開催。宝塚クラブから昨年同様、お汁粉、ラーメンの出店とチャリティーランも参加。

○アジア大会マーシャルの申し込み

締め切りは11月15日

○故小島規似郎メンを偲び「祈りと思い出の懇談会」が11月9日（月）大阪 YMCA10階チャペルにて行われます。宝塚クから多胡、長尾、三品のメンが出席。

○第二回六甲部役員会が10月23日（木）18：30～神戸 YMCA カレッジにて開催。

～～クラブ例会の紹介～～

※12月はクリスマス例会でゴスペル等楽しい例会を計画中

2014年度次期役員研修会の報告 (六甲部部長として)

10月25日（土）～26日（日）の一泊二日ホテルクライトン新大阪で次期役員研修会が



開催され出席した。参加者約50人。六甲部からは関係者の現部長（多胡 葉子・宝塚クラブ）、次期部長（進藤 啓介・神戸クラブ）、次期 EMC 主任（小野 勅紘・西宮クラブ）、LD 委員長（藤井 久子・神戸学園都市クラブ）、部長レクチャー担当（山田 滋記・神戸ポートクラブ）、西日本区事務所所長（長尾 亘・宝塚クラブ）と6人が出席。

研修の内容は一日目が西日本区現況報告、国際議員報告、役員的心得、次期理事活動報告、キリスト教理解、YMCA 理解、次期事業主任方

針とワイズ必携にそってのレクチャーがなされた。その後、インドで開催された IYC に西日本区から参加されたヤングメンバー4人がそれぞれに参加して得られた多くの体験を話された。若いメンバーを支援するワイズ活動の大きな意味が実践として伝わった嬉しい報告会であった。

二日目は西日本区のクラブ運営に関する事務手続き、会議の進め方、部長グループ、主任グループに分かれてレクチャーなどなどと本当に分刻みのレクチャーが続いた研修だった。夜は食事を囲んでの楽しい交流のひと時。9月

～10月にかけての各部会巡りをしたお陰で多くのワイズと一層豊かな、楽しい交流となった。



昨年と同じ研修を受け今年は二度目となったが、実際に部長職として動き出しているこの研修会参加は昨年とは違って身に付き、一層ワイズ理解へと繋がっていくように思えた。このような研修を通して部長、主任の果たす役割がわかりたとえワイズ歴が短くても心配なくその働きが出来ていくことを実感させられた。何と言ってもワイズのメンバーであることは多くの方々の支えがあり励ましがあ、楽しい交流を通して自己研鑽の場となる。これらワイズの研修こそそのことを確信させてくれる場でもあると思う。

多胡 葉子

「Y's Service Club of Hilo との再会」

去る5月末に開催されたハワイ区大会で大阪土佐堀クラブ・IBCのヒロクラブのみなさんに大変お世話になったことは、ブリテン7月号でご報告しました。お別れの際、「9月に又来るので会いましょう」と約束した通り5名のメンバー

と再会出来ました。毎年9月下旬に大好きなヒロで、ハワイの自然、アロハスピリットに触れてリセットするのが私の楽しい恒例イベントです。

今年はヒロクラブとの再会と言うおまけができました！

いつも宿泊する友人宅でパーティをやらう、と提案した所、ヒロクラブから会長の Lanny 始め、大先輩の Jimmy & Lilian Fujimoto 夫妻、合せて5名のメンバー、そして友人 (Kenji) の友人であるフラの先生夫妻、私の妹など同行仲間が集まり、総勢16名の楽しい夕べとなりました。

5月のハワイ区大会の BBQ パーティに Kenji & Michelle 夫妻を私のゲストとしてお招きしたので顔見知りもあり、

ハワイと言う土地もあり直ぐにみんな和気藹々の雰囲気になりました。勿論、Michelle の美味しいお料理、ヒロクラブメンバーの持ち寄り料理は絶賛でした。

Jimmy さんは85歳。週に3回ゴルフをされる



そうで、友人は時々コースで出会うそうです。寡黙で凛とした姿は日系アメリカ人の気骨を感じます。長尾亘メンとは旧知の間柄。Lilianも年齢が分からない位素敵です。

宝塚クラブで英語のブリテンを発行した話をすると、ぜひ続けて送って欲しいと会長のLannyから言われました。頑張りましょう！

宴もたけなわになるとクムフラ（フラの先生）の素晴らしいフラ、勢いに乗って私達のフラも出て来て11時過ぎまでパーティは続きました。新しい出会いに感謝、と言う言葉を残してヒロクラブの仲間は真っ暗な道をそれぞれ帰りました。

勿論Jimmyさんもご自分で運転して・・・Mahalo ございました。(ありがとうございました)

石田由美子

西日本区全部会訪問（最終）

「第13回瀬戸山陰部会」

2014年10月4日（土）最後の部会、第13回瀬戸山陰部の会場は、鳥取県八頭郡智頭町という、山深い木の香の残る廃校になった山郷小学校で開催されました。140名を超すワイズメンやメネットが、様々な交通機関を使って集まり、

交流を深め学びの時間を過ごしました。六甲部以外の部会

を訪問したのは初めての経験で、大変興味深くワイズのエネルギーと暖かさを感じることができました。



13時から始まった部会のメインは故郷の智頭町で、町おこしに取り組んでいる鳥取クラブの広域会員の藤原和廣さんの講演で、地域資源を生かす取り組みと智頭町の町の歴史と紹介の映像の紹介があり、後半は彼が営む「山の郷工房」や杉の木材で建築された体育館を見学しました。地域資源を生かし、次の世代に「美しい自然」と「優しい心」を伝えたいという熱意にあふれたものでした。

懇親会はこの小学校で町の女性たちが運営する「おむすびころりん」という食堂が腕によりをかけて作った食事が用意されて、特に取れたてのマイタケのてんぷらは絶品、各地からもちよった地酒で大いに会場は盛り上がりました。17時30分に名残は尽きませんでした。予定どうり閉会しました。多胡さんと二人、バスの時間まで2時間もありませんでしたが、講演して下さった地元の藤原さんにご相談すると、ご親切に自宅に招いてくださって、お連れ合いのお手製の玉ねぎパンと自家製の紅茶をふるまってくださいました。土日には福原のパーキングで、「じげショップ」を開き地元の商品や農産物の販売に力を入れているとのことで、ご夫妻で地域おこしを楽しんでいられる姿に感銘しました。

多胡部長の最後の部会訪問に同行でき、幸せな気分です。帰路につきました。

武田寿子

「ヴォーリス・メモリアル in 近江八幡」

10月4日から11月4日までの1か月にわたって近江八幡市で標記のイベントが行われています。この実行委員長を近江八幡クラブの堀江宏氏が担当されていることを伺いました。案内書を頂き、バラエティに富む各種の音楽会、講演会などの中から堀江氏自らが「YMCAヴォーリス」と題されて講演される10月9日を選んで石田由美子さんと近江八幡市を訪問し

ました。会場は日本基督教団近江八幡教会、聴講者は一般市民の他、やはりワイズのメンバーが多く、特に近江八幡クラブとDBCを結んでおられる西宮クラブからは大挙、また遠くは同じくDBCの広島クラブからも来られていました。お話はヴォーリズ氏がいかにか高い志を持ってYMCAの活動に熱心に取り組まれたかを、直接対面された時の印象を含めて、またユーモアを交えて話されました。私などは建築設計家、或いはメンソレタームのヴォーリズさんの印象が強く、大いに認識を改めました。講演後、夕食を共にしながら懇親会をしたのですが、このようにDBCとしての親交を深めておられることはワイズが進めているDBC交遊のお手本のように感じました。

堀江裕一

「宝塚クラブ 10月例会に出席して」

岩国クラブ 辻 建

10月のはじめに関学神学部で学んだ仲間のクラス会が神戸しあわせの村で持たれ、家族ぐるみの総勢 11名が顔を合わせました。その終了後、宝塚ワイズの10月例会があるので、神戸滞在を1日延期して出席させて頂くことにしました。今回は西澤キャスターを招いておられることをあらかじめ知らされており、ガキの頃からトラキチであった私にとって長年サンテレビをとおしてお世話になった西澤さんのナマのお姿に接することが出来る楽しみを胸一杯に参加しました。西澤さんにどんな質問をしようかとあれこれ考え、一晩中お付き合いして頂いてもつきない話題があれこれと頭に浮かびました。とりあえず三つの質問をしよう。広島カープは若手を育てるのが上手なのに、なぜ阪神はへたなのか。藤波と日ハムの大谷とはどちらが将来性があると見ておられるのか。最近のアナウンサーはしゃべり

すぎで野球を楽しめない、もっと寡黙にいけないのか、といった質問を用意しました。当日、これまたトラキチで有名な吉田明さんの司会、「六甲おろし」で西澤さんを迎えるという趣向は吉田さんならではの名司会ぶりでした。この声だ、この声とともに夜を何時間も(ムダといえばムダにして)過ごして来たんだ、と感無量の思いで講演のひと言ひと言を聴きました。質問に手を挙げるのをちゅうちょしている間に、会は進行してとうとう質問は不発に終わってしまいました。あ～あ 宝塚ワイズに出て、「親友」(心友)たちと顔を合わせるのには私にとってオアシスの冷泉でのどをうるおすのと似ています。ワイズという集団が若い人たちの活動を支える集団であることは言うまでもありませんが、人はみな老いていくのですし、老いて後もともに労した者同士の交わりがその片隅に形づく



られていって当然だと思われま。今回、青柳正志さんと隣り合わせで食事をするご配慮を頂きましたが、青柳さんとわたしとは共に宝塚クラブのチャーターメンバーで同年齢、パイロットとして世界の海を駆け巡った青柳さん、いまはデイサービスに通われている青柳さんと声を交わす機会を頂いたのもワイズならではのご配慮だと感謝しています。杉谷会長さんを中心に交流の大きな翼を拡げて発展の一時期をつくり出しているいまの宝塚クラブのご活躍をまぶしく眺めさせて頂いています。ありがとうございました。

「11月ユース例会の内容」

11月例会では、ユース例会ということもあり大学時代の同期である佐野さんとともにいくつかのゲームを予定しています。まず、「もしもしかめよかめさんよ」を手遊びで指・腕の運動をしてリラックスしていただき、その後グループに分かれて「○△□ゲーム」で絵を描いていきたいと思えます。○△□を使って皆さんどんな絵を描き上げていくのか楽しみにしています。最後は、新聞紙を使って「新聞紙リレー」を行います。こちらもグループに分かれてリレーしていきます。軽いボール、重いボール、小さなボールなどさまざまなボールを用意しています。いつもとは異なる例会になりますが皆さんで楽しみましょう。当日は、動きやすい服装でお越し下さい。

桑田 勝弥

【今月のみ言葉】

旧約聖書冒頭の天地創造の物語に続く箇所には、最初の間であるアダムとその妻エバとの間に生まれたカインとアベルの物語が記されています。二人はやがて成長し、兄のカインは土を耕す者に、弟のアベルは羊を飼う者となりました。あるとき、二人はそれぞれに神への献げ物を用意しますが、弟アベルが用意した羊の初子は神に受け入れられたのに対して、カインがささげようとした土の実りは受け入れられませんでした。カインはそのことで非常に腹を立て、激しい嫉妬心から弟を殺害してしまいます。

このように、聖書において「人類最初の兄弟」は、殺し、殺されるという最悪の人間関係として描かれています。それにしてもなぜ、カインの献げ物は受け入れられなかったのでしょうか。これについては、①カインの人間性に問題があった、②献げ物をささげる際のカインの姿勢に問題があった、③献げ物の内容に問題が

あった等、さまざまな見解が提案されてきましたが、どの説明も十分に納得のいくものではありません。

その意味でも、この物語はむしろ、私たちがそれぞれの人生において度々遭遇する「不条理な現実」について語ろうとしているように思えます。つまり、うまくいくときもあればそうでないときもある、つまりきもあれば挫折もある、そのように多くの困難を伴う人生を生きる私たち一人ひとりに、そのような不条理な現実をも謙虚に受け入れねばならないときがあることを教えようとしているのではないのでしょうか。

嶺重 淑

「じゃがいも完売！！」

10月4日（土）午前9時、十勝のじゃがいも400箱を載せたトラックが大林さん宅ガレージに到着した。西宮 YMCA から三島さん他スタッフ、リーダーが大勢駆けつけてくれた。毎年の事なので荷卸し作業は馴れたもの。400個の段ボール箱は若いリーダー達の元気な掛け声とはじける笑顔で次々とガレージの中に積み上げられ30分で作業終了。

その後はワイズのメンバーや毎年この日には手伝いに来てくれる谷さん達の車がフル稼働、それぞれの売り先へ配送、又ガレージに戻って次なる売り先へと一日良く働いた。翌日からも随時メンバーの車が訪れ、10月22日には早くも完売！！

今年も品質が良く、「美味しい」と好評。皆様本当にご協力有難うございました。大林さん、谷さんには毎年お世話になり感謝です。来年もよろしくお願ひします。

吉田 明（じゃがいも事業委員）

YMCA だより



YMCA だより

1. リソース・モビリゼーション・ ワークショップ

去る 10月 10日（金）から 12日（日）まで、大阪 YMCA を会場として、日本 YMCA 同盟が主催する標記の研修会が行なわれました。「リソース・モビリゼーション」とは簡単に言うとファンドレイジングの新しい手法ということですが、アメリカの YMCA から講師を招いて、より広く市民から支援を受けるために、どのような手法が有効かについて学ぶ機会でした。神戸 YMCA においても、国際協力募金、子ども奨学金、東日本大震災復興支援募金に加えて、新会館建築募金を行っています。どれだけ広い対象者からどれだけ多くの寄附を得ることができるか、思索・苦労をしているところです。今回の学びを次の募金活動につなげることができればと思います。

皆様にも協力をお願いしています新会館の建築募金は現在 2200 万円ほどが集まっています。目標額は 3 年間で 2 億円ということでもまだまだ先の長い計画ですが、皆様もどうぞ様々な方々に協力を呼びかけ、少しでも多くの思いが寄せられますように働きかけをお願いいたします。

2. 西宮 YMCA カーニバル、 学園都市ワイワイまつり開催

去る 10月 19日（日）に西宮 YMCA でカーニバルが、また 26日（日）には学園都市の西神戸 YMCA 会館でワイワイまつりが開催され、それぞれに天候に恵まれ、また 750 名ほどの来場者を得て盛況のうちに終了することができました。それぞれワイズメンズクラブや会員、保育園関係者、ボランティアリーダーの皆さんのご奉仕により、模擬店や食堂、ゲーム、のみ

の市などの催しが準備され、来場者の方々にお楽しみいただけたと思います。今年は三宮会館の解体工事のために、三宮地域でのバザーはできませんでしたが、またファミリーウエルネスセンターでも地域に開かれた催しができればと願っています。ご協力ありがとうございました。

3. 国際ホテル学校・専門学校ホテル学科設立 50 周年記念式典、挙行

去る 10月 21日（火）に、神戸 YMCA 国際ホテル学校・専門学校ホテル学科の設立 50 周年を祝う会が、ANA クラウンプラザホテルにおいて 150 名以上の来会者を得て挙行されました。神戸 YMCA のホテル学校は 1964 年、東京オリンピックが開催され、新幹線が開業した年に、業界からの要請を受けて開設されました。以来、1500 名の卒業生を輩出し、京阪神の主要ホテルに多くの卒業生が働いています。「ねんごろに旅人をもてなしなさい。」という聖書の言葉に基づき、ホスピタリティを学んだ学生が業界で大きな働きをし、YMCA の名前を大きなものとしてくださっています。当日も主要ホテルから総支配人の方々が多く駆けつけてくださり、祝意を述べてくださいました。

4. 今後の予定

1) 第 17 回神戸 YMCA インターナショナル・ チャリティーラン

日 時：11月 3日（月・祝）9:00～15:00
場 所：しあわせの村（神戸市北区山田町）

2) 2014 年度 YMCA セミナー 「陣内大蔵 チャーチコンサート ～いま、平和を求めて～」

日本においても、そして世界に目を向けても、様々な状況下で、平和を保つことが難しくなっています。そんな中で、私たちは何を大切にするべきなのか。どう考え、歩むべきなのか。今年度の YMCA セミナーでは、

ゲストにシンガーソングライターの陣内大蔵さんを迎え、歌とトークを交え、平和を想うひと時を持ちたいと思います。ぜひご参加ください。

日 時：11月7日(金) 19:00～20:30
(18:30開場)

場 所：日本基督教団 神戸栄光教会
(神戸市営地下鉄県庁前駅)

チケット：(一般：1,000円
中高生：500円)

3) 第18回日本YMCA大会

日本のYMCA全体が「YMCAブランドの再生」「オールジャパンYMCAの革新」に向かって行動しようとしています。そのために、より多くの関係者が秋の東山荘に結集し、語り合う機会を持とうとしています。神戸からもバスを出します。ご参加ください。

日 程：11月22日(土)～24日(月・祝)
2泊3日

場 所：YMCA国際青少年センター
東山荘(御殿場市)

参加費：26,000円(ユース 15,000円)

4) 「盛岡YMCA 宮古地域震災復興事業の支援の輪を広げる活動」講演会

震災後、ボランティアセンターとして活躍された宮古センターの現状を学び、今後の支援の輪を広げるための講演会です。ご参加ください。

日 時：11月29日(土) 15:00～
17:00

場 所：ユースプラザ KOBE・EAST
講 師：濱塚有史さん(盛岡YMCA総主事)
齊藤 勉さん
(宮古ボランティアセンター長)

参加費：無料

主 催：西宮ワイズメンズクラブ

申し込み：11月15日(土)までに西宮YMCA
まで(Tel.0798-35-5987)

今年第10回記念「キャロルの夕べ」です!

チャリティー市民クリスマス

キャロルを歌う夕べ

2014年12月18日(木)
開演：午後7時(開場6時30分)
宝塚ベガホール(入場無料)

第一部 劇説と音楽で綴るクリスマス物語
第二部 みんなでキャロルを歌おう